



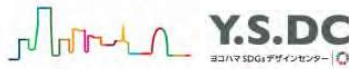
報道関係者各位

令和5年1月24日

ヨコハマ SDGs デザインセンター

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD インターリスク総研株式会社



横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”認証事業者及び認証取得を目指す事業者向けに CO₂排出量簡易算定ツールの利用機会を提供します

ヨコハマ SDGs デザインセンターは、金融機関と連携しながら、横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”認証事業者へのメリット提供を充実させてまいりました。

このたび、三井住友海上火災保険株式会社、MS&AD インターリスク総研株式会社と連携し、横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”認証事業者及び認証取得を目指す事業者向けに、CO₂排出量簡易算定ツールの利用機会を提供することとなりましたので、お知らせします。同ツールは通常、利用費用がかかりますが、対象となる事業者の皆様には、1年目の利用料を無償で提供します。(2年目以降も継続して利用を希望される場合には、税込66,000円/年の利用料負担が必要。)

脱炭素化に向けた取組を実施するためには、CO₂排出量を見える化することが重要です。ヨコハマ SDGs デザインセンターは、この機会をきっかけに市内企業をはじめとする事業者の皆様の取組をサポートします。

【対象者】

横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”認証取得事業者の皆様 及び認証を目指す事業者の皆様

※認証取得を目指す事業者の皆様においては、ヨコハマ SDGs デザインセンター (contact@yokohama-sdgs.jp) 宛てに、タイトルに「【CO₂排出量簡易算定ツールの利用】」と明記の上メールください。返信にて、認証取得のご意向をお伺いするとともにツールのご利用についてご案内いたします。

【利用いただけるCO₂排出量算定ツールの概要】

- ・利用者自身で排出量を算定できるクラウド型算定ツールです。
- ・電卓のイメージで自社各拠点の敷地面積（または延床面積）、各種エネルギーごとの支出額等、多方面からのCO₂排出量の算定が可能です。
- ・算定結果をもとに簡易的な削減シミュレーションツールもご提供します。

※詳しくは、次頁以降のチラシをご確認ください。

【お申込みについて】

ヨコハマ SDGs デザインセンター (contact@yokohama-sdgs.jp) 宛てに、メールで利用希望の旨お知らせください。なお、デザインセンターにお申込みいただいた後に、MS&AD インターリスク総研株式会社宛てに利用申込書を提出いただくこととなりますので、予めご承知おきください。

【利用料金について】

1年目 無料

※2年目以降も継続して利用を希望される場合は、有料（税込66,000円/年）となります。有料となるタイミングで、継続以降の有無をMS&AD インターリスク総研株式会社からお伺いします。

お問い合わせ先

コンサルティングメニューについて：三井住友海上火災保険株式会社 神奈川支店法人営業課

北田 mail: y-kitada@ms-ins.com 045-274-8914

ヨコハマ SDGs デザインセンター事業について：ヨコハマ SDGs デザインセンター

麻生・五十嵐 mail: contact@yokohama-sdgs.jp 050-3749-7415

CO₂排出量簡算定ツールのご案内

サービスの概要

- お客さまご自身で排出量を算定できるクラウド型算定ツールです。
- 電卓のイメージで自社各拠点の敷地面積（または延床面積）、各種エネルギーごとの支出額等、多方面からのCO₂排出量の算定が可能です。
- 算定結果をもとに簡易的な削減シミュレーションツールもご提供します。

算定対象のエネルギー

エネルギータイプ
①A重油
②灯油
③LPG
④都市ガス
⑤ガソリン
⑥軽油
⑦電気の購入

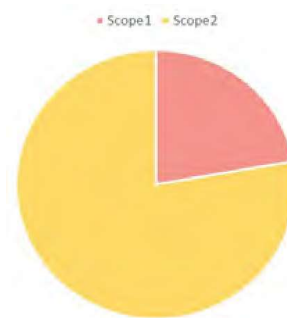
ツールにデータを入力

エネルギータイプ	
①A重油	・・・円
②灯油	・・・円
③LPG	・・・円
④都市ガス	・・・円
⑤ガソリン	・・・円
⑥軽油	・・・円
⑦電気の購入	・・・円

算定結果を出力

CO₂排出量算出 結果
2020年4月~2021年3月

スコープ	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	比率
Scope1	XXX.X	〇〇%
Scope2	YY.Y	△△%
排出量合計	ZZZ.Z	100%



削減シミュレーションツール

申込番号	更新日	産業区分	社員数	開始期間	終了期間
30	2022/12/1	漁業	1~49	2022/12/1	2022/12/31

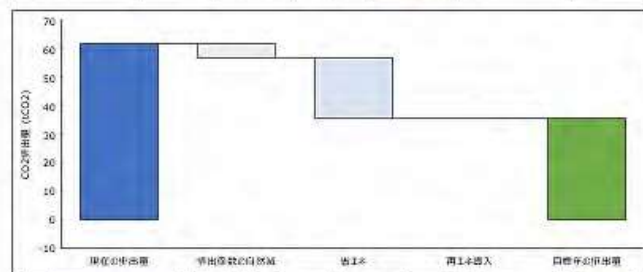
削減率	削減率の算出	削減率の算出条件
43.3	削減率の算出	削減率の算出条件
0	削減率の算出	削減率の算出条件
0	削減率の算出	削減率の算出条件
0	削減率の算出	削減率の算出条件
0	削減率の算出	削減率の算出条件
3	削減率の算出	削減率の算出条件
3	削減率の算出	削減率の算出条件
7	削減率の算出	削減率の算出条件
15	削減率の算出	削減率の算出条件

削減率の算出	削減率の算出	削減率の算出	削減率の算出	削減率の算出	削減率の算出
46.0	-13.23	32.77	0.00	0.00	0.00
15.0	-3.06	-8.18	0.00	0.00	0.00
61.0	-3.06	-21.41	0.00	32.77	0.00

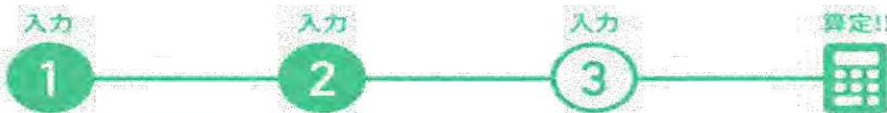
出力したCSVのデータを
シミュレーションツールに貼り付けると

2030年までに期待される
削減量を概算できます！

算定結果は裏面をご覧ください



算定画面



企業名: テストカンパニー ID: 00001

2 Scope1及びScope2の算定

ここではScope1及びScope2排出量を、以下のいずれかの5種類の方法から、一つを選択して算定します。

- 1. すでに算定済で数値を把握している
- 2. 自社各拠点の敷地面積から概算する
- 3. 決算書の水道光熱費から概算する
- 4. 各エネルギーごとに年間の支出額を把握している (会計データ等)
- 5. 各エネルギーごとの年間消費量を把握している

すでにScope1,2を算定されている場合に、それぞれの算定結果を入力します

決算書情報の“水道光熱費”“燃料費”“電力費”から、Scope1及びScope2排出量を概算します

それぞれのエネルギー消費量を元に、排出係数を掛け合わせることで最も精緻なCO₂排出量を算出します

自社各拠点の敷地面積 (または延べ床面積) からScope1及びScope2排出量を概算します

会計データから各種エネルギーごとの支出額を入力することで、燃料の燃焼によるCO₂直接排出量、および電気の使用による間接的なCO₂排出量を算出します

多方面からの算出が可能です。

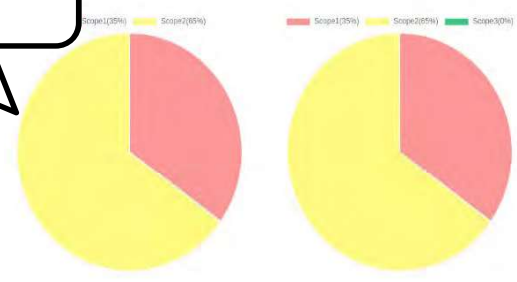
算定結果

算定期間
2021年4月 ~ 2022年3月

スコープ	カテゴリ	排出量	比率
Scope1			
Scope2		111.8	65%
合計		172.0	100%

算定結果の数値はCSVで出力でき、
自社内でデータ保存可能です。

CO₂排出比率を円グラフで
可視化します。



注：海外拠点のCO₂を算定される場合、電力の排出係数は国内平均を使用していることを前提にご利用下さい。